

令和2年9月23日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

調査事項

学校給食における異物混入発生時の対応について

～内容～

小学校で起こった給食の異物混入について、発生時の対応について調査しました。

～質疑～

問：今回のケースは報告が遅かった。危機管理においては、時間を要したら意味がない。みんなで情報共有する必要があったのではないか。

答：まず、保護者への連絡を一番にするべきであった。そして、教育委員会で協議し他の保護者への連絡等を検討すべきであった。また、その日のうちに早急に対応すべきであった。その対応ができなかったのが保護者の不安につながってしまった。

問：マニュアルの周知はどうか。

答：再度マニュアルを配布し、校長や教頭だけでなく全職員に徹底する。

問：児童の健康観察が必要であると考えらるがどうか。

答：該当児童だけではなく、そのクラス全員また学校全員の健康観察をしっかりと行かなければならない。マニュアルにもそのことを記載し、改善したい。健康観察が一番にするべきことで、学校へ十分に指導していきたい。

報告事項

新型コロナウイルス対応に伴う臨時休校中の意識調査の結果について

～内容～

3月から5月に臨時休校を行った間の、児童生徒、保護者及び教職員の状況を把握するため行ったアンケートの結果について報告を受けました。

～質疑～

問：感染予防対策において先生が不安を感じているが、具体的にはどうか。

答：具体的には、どのような薬品で消毒をするのか、子どもの机や椅子はどこまで消毒するのか、限られた時間での消毒作業の負担等である。現在は、チェックリストを配布したことにより、不安の軽減はできていると考えている。